

新年号

令和6年1月

発 行 磐梯町議会

磐梯町大字磐梯字中ノ橋1855

3 0242 - 74 - 1219

編 集 議会広報委員会



副 議 経済環境委員長 総務文教厚生委員長 議 議長 穴 佐 古 小 五 中 松 鈴 高 鈴長 十嵐 澤 藤 Ш 林 木 木 橋 嶋 坂 孝 貴 隆 修 大 浩 久 治 将 翼 次 則 郎 子 洋 綾

令和六年初春謹賀新年

謹んで新年の

ご挨拶を申し上げます 梯 町議 会議

とうござ 新 年 明 け ま ま L 7 お \Diamond で

様

に

は

輝

カュ

L

春

ル

ク

´ ラッ

シ

ツ

ク

が

行

わ

をお し上げま 健 P 心 か に か 迎 5 お え らい 喜 れ新 び 申 た

す。 年のご 代 年 表 頭 E L 挨拶を申 まし 当 た り、 て 謹 Ĺ 上 λ 町 げ で 議 ま 新 숲

た年でもあ

りました。

厚く御 11 活 昨 動 ま 理 た、 年 に は 礼 解とご協 対 申 L 日 L ま 頃 新 上 型 し か 一げます。 て、 5 コ 力 を 町 口 ナ 賜 温 議 ゥ り か 숲

L

除 イ 行 ル て、 れ さ ス 感 れ 染 行 症 動 0) 事 が B 第 制 限 家 五. 類 が 庭 に 解 に

野 球 昨 0 年 ワ \mathcal{O} ス ポ ル ド] べ ツ 界] で ス ボ は

本中に 擊 るなど、 破 L 外 希望と感動を与え 見 玉 世界が 事 0 に 強 豪 世 感 チ 界 嘆 خ ل ,] に Δ な 日 を

クライ 7 ス ラエ また、 続 0 侵 ** \ -ナ 侵 てお 攻も ル に 口 ょ 始 攻 ŋ シアによるウ には る ま 更に 依然とし り ガ ザ は 拡 地 大 区 1

7

1

ま

害 毎 す。 て 年 が 近 年 0 ま ょ は す。 百 う 玉 に 各 年 に 発 地 生 に お 度 て \mathcal{O} 1 7 災 11

子 想 が 0 カゝ な 1 自 然 災

議

0)

使

命

は、

常

に

町

す。 あ 強 災 政 を ること 組 区 把 11 を主 ま 織 握 ち す \mathcal{O} を Ś 体 づ 強 < とす 痛 化 ŋ 感 等 が る L て 急 自 災 害 7 務 主 ま に で 防 見 性 \mathcal{O}

久

らここ数年、 調 人 な 減 小 って を切って 査 少 子 で が 高 は V 進 齢 ま 4 化 3, Ŋ す。 、出生数 に ・ます。 ょ 直 3 2 2 残 近 ŋ 念 \mathcal{O} は 人口 2 な 人 玉 ع が 勢 ょ

継 あ る農業 者 ま 多くの た、 示 足 P に 町 耕 問 お \mathcal{O} 基幹 ٧١ 題 作 て が 放 は、 産 棄 Ш 地 業 積 な 後 で

だきます。

年 心よ

0)

ご挨 りご

拶とさせ

7

た

1

年

نے

りま 念申

す

ことを

ょ

ŋ

民

0

祈 な

上

げ

新

くことが ると考え が 暮 心 町民 るよう 5 L て住 せ 0 て、 皆 ま 舵 みや 議 様 会 取 人 が、 すく笑顔 口 0 り 責 を 増 安 任 に L 全 で て 0 で な で あ V 安

害 に 備 え て、 地 域 \mathcal{O} 実 情 とです。 見を こ の 据 0 ルえ、 町 見 課 ح 政 地 題 لح に 町 を カュ を 反 民 5 把 念 眏 \mathcal{O} 握 3 多 頭 町 L せる 様 全 に

体

公

な

意 を 益

本 町 に 目 を 向 け ま す ځ 上げま 所存 解とご支援 皆 議 お 会に 様 結 層 び で に す。 لح に、 対 す \mathcal{O} ŋ 努 L で、 力 ま 本 を ま L 年 お L を て、 て、 本年も が 願 L て 町 V

ご理

1

<

な

町

申